

## 地区名：乾側地区

### 実施主体：乾側をよくする会

#### 1 基本データ

- 地区人口 872 人 (R2.4.1 現在)
- 世帯数 325 世帯
- 行政区数 8 行政区
- 面積 約 5.8 平方キロメートル
- 地区の沿革

乾側地区は、市街地の北西部に位置し、地区西端にある花山峠を境に福井市に接し、地区中央の東西を国道 158 号線が横断しており、大野市の西の玄関口となっている。

8 地区からなり戸数約 220 戸で、酒米と種粃産地として有名な純農村地域である。

#### 2 現状と課題

乾側地区は縄文時代から人々が住み始め、大野でも最初に開けた場所のひとつである。弥生時代や古墳時代には牛ヶ原を中心に大きな力を持った豪族が現れ、乾側地区内に多くの墓や古墳が作られた。中でも牛ヶ原の山ヶ鼻古墳群には奥越で唯一の前方後円墳があり、鉄剣や貨幣（和同開珎）も見つかっている。なお、大野盆地内の古墳のうち 6 割以上が乾側地区に集中している。

また、稲作が始まり、奈良時代には寺や貴族・豪族の土地である荘園が発達したが、牛ヶ原の荘園は、奈良時代には奈良東大寺領、平安時代には京都醍醐寺領として、今の市街地の北半分にまで広がっていた。その牛原荘には後に牛ヶ原城が築かれ、三社神社が建立された。なお、尾永見区には、稲作に縁の深い雨乞い踊りが無形民俗文化財として継承されている。

さらに、南北朝時代に築かれた戌山城は、金森長近によって越前大野城が築かれるまで、戦国時代の激動期を含め 200 年余りの間、大野とその周辺地域を治める斯波氏、朝倉氏の居城として、県内 2 番目の多さの畝掘数と奥越最大

の規模を誇る山城であり、一乗谷城の東方面の軍事拠点として重要な役割を果たしていた。

このように、乾側地区は古来、大野盆地の中でも最も歴史と伝統のある地域であり、その価値と魅力を高めるために、平成 22 年度から 3 年間をかけて「みくら清水・戌山城址」及び「牛ヶ原城址・三社神社」の 2 コースの登山道整備を、平成 25 年度から登山道の継続整備を含めた史跡整備に取り組んでいる。

また、乾側の歴史に関心を深めて貰えるようマンガ調本「乾側歴史ものがたり」の発刊、乾側地区の史跡をマップに図示した「歴史ロマンの郷 乾側」と題した乾側史跡総合案内看板を制作している。

これまでに整備してきた史跡を含め、乾側の魅力をより分かりやすく紹介・案内できるようホームページとパンフレットを制作するなど、地域の魅力の再確認と情報発信に取り組んできた。

「残りたい、訪れたい、住みたい」と思えるような魅力ある地域づくりを行うには、今後、更なる地域資源の洗い直しや掘り起こしを行い、これまでに整備してきた史跡・伝統等を始めとする乾側の魅力を周知・継続発展させていくことに併せて、加速する地域の人口減少問題に対して、いかに取り組んでいくか、今後、重要課題となってくる。

また、令和 3 年 3 月末をもって乾側小学校が統合され、地区内にある学校がなくなることになった。地区内に学校がなくなることで、地区の活性化が失われるのではとの懸念があるが、児童だけでなく、地区の子どもたちが関わる事業、行事を公民館で引継ぎ、地区の子どもたちは地区で育てていくことを念頭に置いて取り組んでいきたい。

### 3 事業の内容

#### (1) 普及啓発・伝承事業

##### ○乾側魅力紹介HP更新

乾側地区を紹介したHPを更新した。

#### (2) 登山道・史跡整備事業

##### ○牛ヶ原城址・三社神社登山道及び牛ヶ原駅周辺清掃

開催日時 令和2年11月1日(日)

午前9時～10時30分

参加者 20人

乾側地区の史跡を整備する事業であり、牛ヶ原城址と戌山城址の登山道を隔年で整備している。

今年度は、牛ヶ原城址登山道の整備だが、草刈りを中心に階段等の清掃を実施している。合わせて、地区女性の会と協力し、牛ヶ原駅周辺(駅舎及び駐車、駐輪場)の清掃も実施している。当日は、二班に分かれ実施している。



牛ヶ原城址



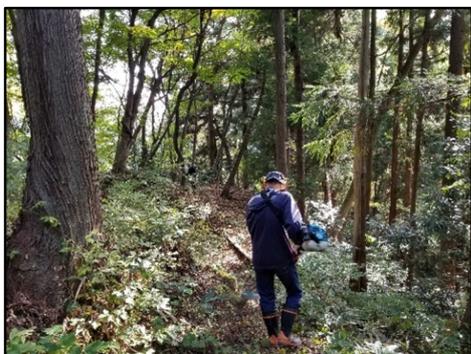
三社神社



牛ヶ原城址登山道口



牛ヶ原駅駅舎



牛ヶ原城址登山道



牛ヶ原駅駐車、駐輪場

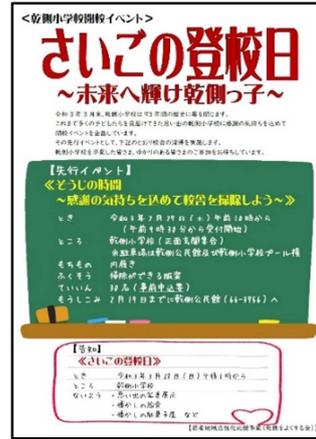


(3) 地域活力事業

○若者地域活性化応援事業

(閉校イベントを企画しよう!!)

乾側小学校の統合に伴い、乾側小学校を卒業した若者（20～30代）を公募し、厚真逢ったメンバーで閉校イベントを企画、実施している。乾側地区に在住している方だけでなく、地区外に在住している方も含め、13人の参加があり、9月の第1回打合せに始まり、3月までに9回の打合せを実施している。



先行イベントチラシ

当日は、乾側小学校を卒業した中学生、高校生を含め地区の方々が参加し、4班に分かれ、玄関、体育館、廊下・階段、教室の雑巾がけをしている。



応募チラシ

まず、イベントの日を乾側小学校統合記念式典の日に合わせて、3月28日（日）とし、令和元年12月から使用されていない乾側小学校校舎（牛ヶ原校舎）を使用して行うこととした。その先行イベントとして、校舎を掃除するイベントを実施している。

<先行イベント そうじの時間～感謝の気持ちを込めて校舎を掃除しよう～>

開催日時 令和3年2月27日（土）

午前10時から

場所 乾側小学校校舎（牛ヶ原校舎）

参加者 42人



参加者会場入り



受付、検温



説明



班分け



作業（玄関）



作業（体育館）



作業（廊下・階段）



作業（教室）



黒板メッセージ（イベント用）



作業終了



記念撮影

参加者は、校舎を懐かしみながら、感謝の気持ちを込めて掃除していた。掃除終了後、3月のイベント本番に向けた黒板メッセージに思い思いの乾側小学校へ向けたメッセージを記入してもらっている。

<本番イベント さいごの登校日～未来へ輝け乾側っ子～>

開催日時 令和3年3月28日（日）  
午後1時から4時  
場所 乾側小学校校舎（牛ヶ原校舎）  
参加者 約200人



イベントチラシ表



イベントチラシ裏

乾側小学校統合記念式典、統合記念事業（記念碑除幕式等）が開催された3月28日（日）の午後に閉校イベントを実施している。

同日午前中に開催された統合記念事業にも参画し、記念碑除幕式の際に、バルーンリリースを実施している。



除幕と同時にバルーンリリース

「さいごの登校日」当日は、企画スタッフ9人、当日スタッフ12人（うち中学生9人）で運営し、校舎内各教室での催しを実施している。

イベントに向けて、9月から打合せを行い、1月ころより準備作業に取り掛かかり、各教室での催し以外にも、放課後子ども教室で乾側小児童に飾り付けを手伝ってもらい、校舎を彩っている。

当日は、乾側小学校卒業生だけでなく、乾側小学校に携わった方々にも多数参加いただき、懐かしむと共に寂しさも感じていたが、楽しんでいただいていた。

《催し内容》

●直前打合せ（昼食兼）



●受付



●統合記念事業スライド上映



●昔ながらの駄菓子屋さん



●乾側小学校思い出缶バッジ作り



●思い出の給食<みんなでカレーを食べよう>



●黒板アート<写真を撮ろう>



陽明中3年生（令和2年度卒業生）美術部  
生徒による作品



●黒板アート<乾側小学校へメッセージを書こう>





●児童が制作に携わった飾り物  
《光の箱》



●乾側美術館<思い出の写真>



《各看板》



●乾側美術館<思い出の展示品>



《風船花束》





#### 4 事業の成果

今年度は、コロナウイルス感染症の影響で、夏まつりをはじめとする例年実施している事業がほとんど中止となった。

実施した事業では、今年度末で乾側小学校が統合されることから、地域活力事業として、若者地域活性化応援事業と銘打ち、乾側小学校の卒業生を中心とした20～30代の若者を公募し、集まった方々で閉校イベントを企画、実施した。公募により集まった方々は、乾側小学校卒業生でも現在乾側地区に住んでいない方もいることから、乾側地区を離れたと方でも地区と関わることができると思う。

また、小学校児童はイベントの飾り物を制作してもらいなど、少しでもこの企画に携わり、乾側小学校出身として、ふるさとを思う気持ちを醸成した。

さらには、当日スタッフとして参加を呼びかけたところ、9名の中学生がスタッフとして参加しており、中学生にとっても、ふるさとを思う気持ちがさらに高まったと思う。

乾側地区は、大野市、他地区と同様高齢化が進んでいる。若者が少なくなっていることは事実であり、これから先もより進んでいくことが予想される。しかしながら、地区から離れたとしても、地区との関りを持つ仕組みを作り、地区行事等になんらかの形で参加できるようなこ

とができれば、地区の活性化を図ることができると思う。今回の小学校統合（閉校）は、地区として寂しく、大きな出来事であり、地区が廃れていくのではとの思いを持っている住民は多いが、これを機会として捉え、地区の活性化を図っていきたい。

#### 5 今後の展望

今年度、若者地域活性化事業を行ったが、これを継続して行い、将来を担う子どもたちに伝えていくことが大事である。

また、小学校が統合され、これまで小学校が実施してきた京都府の醍醐寺、醍醐小学校との交流に代表されるように、地区の歴史と同じく小学校での伝統行事も地区で継承していく必要がある。

小学校がなくなる今、この交付金を活用しながら、より一層の活性化を図る施策が必要である。